

平成31年4月19日（金）

## 山口県基地関係県市町連絡協議会連絡会議の開催結果について

このことについて、本日（19日）、下記のとおり開催しましたので、その概要をお知らせします。

## 記

- 1 日 時 平成31年4月19日（金）14:00～14:30
- 2 場 所 山口県岩国総合庁舎 共用第1会議室
- 3 出席者 山口県：藤田総務部理事 岩国市：山中基地政策担当部長  
柳井市：國村総務部長 周防大島町：中村総務部長  
和木町：田中企画総務課長
- 4 議 題 空母艦載機移駐後の岩国基地周辺における航空機騒音の状況について
- 5 会議の概要

## (1) 移駐完了後の騒音の検証結果

事務局（県）から、岩国基地周辺における航空機騒音の状況について説明を行い、県及び関係市町間で、次のとおり共通認識を図った。

## 《移駐判断時の検証結果との比較》

- 平成30年度の年間W値は、平成18年当時の現況を全ての騒音測定地点で下回るとともに、9割の地点で騒音予測コンターのW値以下であることから、当初の予測の範囲内であることを確認した。

## 《移駐完了後の影響》

- 移駐完了後の騒音の状況を地域別にみると、基地西側や北西の測定地点において減少する一方、基地周辺や航空機の飛行ルート近辺等では増加している地点がある。
- 月別にみると、艦載機が岩国を離れた7月から10月までの間は概ね減少したものの、4月と5月や帰還した11月以降は概ね増加している。
- 特に、FCLP前後の4月と5月には、9割の地点で月別最高値を記録するなど広範囲にわたり騒音が増大し、住民から地元市町に対して多数の苦情が寄せられており、基地周辺の住民生活に影響を及ぼしている。
- また、5月下旬から6月上旬にかけて実施されたFCLP後のCQでは、滑走路の時間外運用に伴う影響は、必ずしも大きなものではなかったものの、主に夜間における多数の離着陸等により、地元岩国市に対し、多数の苦情が寄せられている。

## (2) 出席者の主な発言

- (岩国市) ○ FCLP前に行われた訓練やCQの実施により、市民から多くの苦情が寄せられ、住民生活への影響が大きかったことから、騒音の軽減を求めていく必要がある。

(次頁に続く)

- 市民の不安軽減のため、米軍の運用に関する情報提供や岩国日米協議会の確認事項の遵守を、騒音の影響の軽減を図る観点から住宅防音工事の拡充等を引き続き求めていく必要がある。
- (柳井市) ○ 昨年度の騒音発生回数は、前年度より増えている。市独自の騒音測定器を増設するなど、実態把握に努めているが、国においても、騒音測定器を増設するなど、艦載機移駐後の騒音調査の拡充に努めてほしい。
- (周防大島町) ○ 本町の昨年度の騒音が増加していることは、数値にも示されているし、苦情も増えている。特に4月と5月は騒音の影響が大きかった。
  - 国において、飛行ルート下にあると思われる旧橘町地区にも騒音測定器を設置するなど、更なる実態把握を行っていただきたい。
- (和木町) ○ 町民の不安軽減のため、米軍の運用に関する情報を可能な限り提供してもらうことが必要である。
- (山口県) ○ 今回の検証により、艦載機移駐完了後の騒音の状況について一定の整理を行い、共通認識を持つことができたが、騒音の発生は、日々の米軍機の運用に大きく影響を受けることから、引き続き、県と地元市町とで連携して、艦載機の滞在や運用状況等についてさらに実態把握を行っていきたい。
  - 本日、いただいた御意見等を踏まえながら、今後、課題を整理、検討した上で、必要な対策について、国や米側に求めていくこととしたい。